希学園 第414回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第414回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年11月8日実施)	https://vimeo.com/1244650395/b3a6eb8535

希学園 第414回 公開テスト 小４ 算数　2026年11月８日実施 （模範解答） 制限時間40分

1

(1)	１２１２	(2)	１１９	(3)	９９	(4)	３５０１
(5)	３２７３６	(6)	１８０００	(7)	２０８	(8)	２８８
(9)	$\frac{40}{43}$	(10)	㋐ ４ （Ｌ）	㋑ ４２６ （mL）		(11)	２８１ （m）
(12)	２１ （日）	(13)	１２０ （個）	((10)完答)			

2

(1)	２００	(2)	２２	(3)	１４

3

(1)	２ 回	(2)	中 １ 回	小 １ 回	(3)	４８００ mL ((2)完答)

4

(1)	３６ cm	(2)	１５０ 個	(3)	７ （番目）

5

(1)	６３ 点	(2)	７ 通り	(3)	２６ 通り

（配点） 各４点×２５

希学園 第414回 公開テスト 小４ 算数　2026年11月８日実施 （解説）

1

(7)　442－□－17＝217
442－□＝217＋17＝234
□＝442－234＝208

(8)　□＋46－112＝222
□＝222＋112－46＝288

(10)　８Ｌ78mL－㋐Ｌ㋑mL＋４dL＝４Ｌ52mL
8078mL－㋐Ｌ㋑mL＝4052mL－400mL＝3652mL
㋐Ｌ㋑mL＝8078mL－3652mL＝4426mL
＝4Ｌ426mL

(11)　６km117m－□m－818m＝５km18m
6117m－□m＝5018m＋818m＝5836m
□m＝6117m－5836m＝281m

(12)　11/13(日)より，11/14は２回目の月曜日。
３回目の月曜日は，11/14＋７日＝11/21 → 21日

(13)　１人あたり，10－８＝２(個)多くすると，
全体で，32－10＝22(個)多く配ったことになる。
22÷２＝11(人)より，10×11＋10＝120(個)

2

(1)　17☆８＝17×８＋８×８＝200

(2)　㋐☆７＝㋐×８＋７×７＝225
㋐×８＝225－49＝176 → ㋐＝22

(3)　16☆㋑＝16×８＋㋑×㋑＝324
㋑×㋑＝324－128＝196＝14×14 → ㋑＝14

3

(1)　Ａ＝大３＋中２＋小１＝大２＋中４＋小２より，
大を１回へらしたことで，中を２回と小を１回多く使ったと分かる。
よって，大１回は中２回と小１回の合計と同じ。

(2)　Ｂ＝大１＋中７＋小４より，
大を，４－１＝３(回)多く使うことを考える。
(1)より，大３＝中６＋小３となるので，
大を４回使うと，中を，７－６＝１(回)と，
小を，４－３＝１(回)でＢはちょうどいっぱいになる。

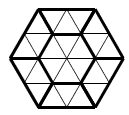
(3)　Ａ＝大３＋中２＋小１＝大４より，Ａは大４回でちょうどいっぱいになると分かる。
(2)より，ＢはＡより，中１回と小１回分の水を多く入れることができる。これが700mL。
また，中１回は小１回より300mL多いので，
小１回は，(700－300)÷２＝200(mL)
中１回は，200＋300＝500(mL)
大１回は，500×２＋200＝1200(mL)
よって，Ａ＝1200×４＝4800(mL)

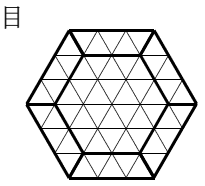
4

(1)　まわりの長さは，番目×６になっている。
６×６＝36(cm)

(2)　右の図の太線部分に注目すると，
２番目の図は，１番目の図より，
３×６＝18(個)増えて，
６＋18＝24(個)
同様に，３番目の図は，２番目の図より，５×６＝30(個)
増えて，24＋30＝54(個)
つまり，４番目の図は，
７×６＝42(個)増えて，
54＋42＝96(個)
５番目の図は，９×６＝54(個)
増えて，96＋54＝150(個)


１番目


２番目


３番目

(3)　(2)より，増える数を順に考える。
５→６番目；11×６＝66(個)
６→７番目；13×６＝78(個)
７→８番目；15×６＝90(個)
よって，□＝７(番目)

5

(1)　得点が最も大きくなるのは，引いたカードの数の差が最も大きくなるとき。つまり，赤い袋から1，白い袋から8を引いたとき。
よって，81－18＝63(点)

(2)　９点になるのは「１，２」のように引いたカードが連続する数になっているとき。
(１，２)，(２，３)，(３，４)，(４，５)，(５，６)，(６，７)，(７，８)の７通り。

(3)　全てのカードの引き方を得点ごとにまとめる。
９点→(2)より，７通り。
27点→(１，４)，(２，５)，(３，６)，(４，７)，(５，８)の５通り。
45点→(１，６)，(２，７)，(３，８)の３通り。
63点→(１，８)の１通り。
Ａが63点のとき，Ｂの得点は，63－36＝27(点)
63点になるのは，(１，８)のみで，
これに対して27点になるのは，５通りなので，
カードの引き方は，１×５＝５(通り)
Ａが45点のとき，Ｂの得点は，45－36＝９(点)
Ａのカードの引き方それぞれに対して，Ｂのカードの引き方が７通りずつあるので，３×７＝21(通り)
よって，５＋21＝26(通り)

配点；各４点×２５